

オープンアクセス方針策定ガイド について

平成29年6月7日

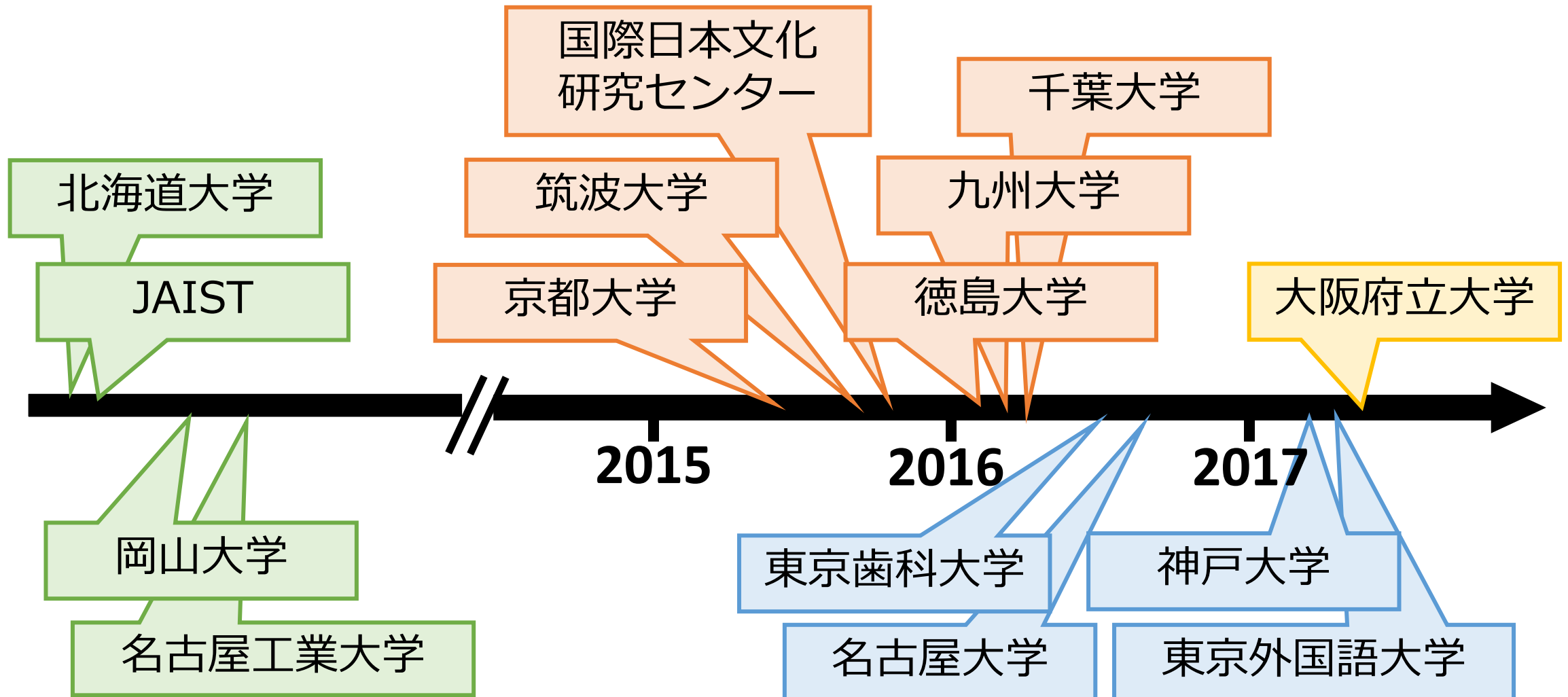
学術情報基盤オープンフォーラム2017 リポジトリトラック

「学術機関リポジトリの最新動向：

オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)の取組み」

新潟大学附属図書館 関澤智子

オープンアクセス方針策定状況（国内・大学等）



「オープンアクセス方針策定支援ツール」 開発の取組み

2015年度

- 京都大学への聞き取り調査
- 海外事例の調査



「支援ツール」の
素案を作成

2016年度

- 「支援ツール」として以下を作成し，公開
 - ① オープンアクセス方針策定ガイド
 - ② オープンアクセス方針リンク集

①オープンアクセス方針策定ガイド

- JPCOARウェブサイトで公開
(2017.2.28.)

<http://id.nii.ac.jp/1458/00000021/>

オープンアクセス方針策定ガイド

2017年2月

機関リポジトリ推進委員会

論文OAタスクフォース

構成

- 第 1 章 OA方針の策定・実施
- 第 2 章 OA方針の構成要素
- 付録 1 実施計画例
- 付録 2 OA方針雛形
- 付録 3 オープンアクセスとは
- 付録 4 ROARMAPの登録手順

※Word形式
でも公開

第1章 OA方針の策定・実施

- OA方針の策定・実施のプロセスを5段階に分けて解説。

1. OA方針実施計画
2. OA方針の設計、採択
3. OA方針認知度向上
4. OA方針を実施する
5. フォローアップ

第2章 OA方針の構成要素

(付録2「OA方針雛形」参照)

- OA方針の条文として記載すべき内容や、検討すべき内容を示す。

第2章 OA 方針の構成要素			
方針策定にあたって検討し、記載すべき構成要素を示す。(付録2「OA 方針雛形」参照)			
OA 方針の構成要素		内容	記入例
第1条 『趣旨』	趣旨	・ OA 方針を作成する趣旨について記載する。 (付録3「オープンアクセスとは」参照)	
第2条 『研究成果の公開』	対象者	・ 対象者について記載する。 ・ 対象となる教員の範囲については、OA 方針に記載してもよいし、「OA 方針実施要領」や FAQ ページ等	「本学に在籍する教員」「本学に在籍する教職員」「本学に在籍する役員及び教員」等

付録 1

実施計画例

1. 計画
2. 方針案作成・策定
3. プロモーション
・認知向上
4. 実施
5. フォローアップ

付録 1. 実施計画例

実施計画例



フェーズ1 計画	・検討プロジェクト立上げ ・他機関の OA 方針の研究 ・運用体制の確認（人員&技術面） ・策定・実施計画の作成	1～2か月
フェーズ2 方針案作成・ 策定	・方針案、説明文書の作成 ・図書館委員会、キーパーソンへの説明 ・教員のコメント受付 ・方針の承認	1～3か月
フェーズ3 プロモーション・ 認知向上	・複数媒体による学内周知 ・教員向け説明会の開催 ・プレスリリースの発行 ・ROARMAP への登録	1～3か月
フェーズ4 実施	・方針の実施 ・実施要領の作成、学内周知 ・教員向けの FAQ や登録サポート	1～3か月
フェーズ5 フォローアップ	・利用統計の作成 ・対象論文の捕捉と登録の呼びかけ ・モニタリング、上層部への情報提供	継続

(The OpenAIRE guide for research institutions を元に作成)

付録2

OA方針雛形

第1条	趣旨
第2条	研究成果の公開
第3条	適用の例外
第4条	適用の不遡及
第5条	リポジトリへの登録
第6条	その他

付録2 OA方針雛形

〇〇〇〇大学オープンアクセス方針

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〔 学長裁定
役員会裁定 など 〕

(趣旨)

1 〇〇〇〇大学は、本学において生産された研究成果を広く学内外を問わず公開することにより、学術研究のさらなる発展に寄与すること、またその成果を社会に還元すること地域および国際社会の持続的発展に貢献すること〔下線部は各大学のビジョン等に基づき記入〕を目的として、オープンアクセスに関する方針を以下のように定める。

(研究成果の公開)

2 本学は、本学に在籍する教員（以下「教員」という。）が、出版社、学協会、学内部局等が発行する学術雑誌等に掲載された研究成果（以下「研究成果」という。）を、〔機関リポジトリ名称を記入〕（以下「リポジトリ」という。）によって公開する。ただし、研究成果の著作権は、本学には移転しない。

(適用の例外)

3 著作権等の理由でリポジトリによる公開が不適切であるとの申出が教員からあった場合、本学は当該研究成果を公開しない。

(適用の不遡及)

4 本方針施行以前に出版された研究成果や、本方針施行以前に本方針と相反する契約を締結した研究成果には、本方針は適用されない。

(リポジトリへの登録)

5 教員は、研究成果について、できるだけすみやかにリポジトリ登録が許諾される著者最終原稿等の適切な版を本学に提供する。リポジトリへの登録、公開等リポジトリに関する事項は、「〔リポジトリ運用指針を記入〕」に基づき取り扱う。

(その他)

6 本方針に定めるもののほか、オープンアクセスに関し必要な事項は、関係者間で協議して定める。

付録3 オープンアクセスとは

- ・ OAの定義、背景
- ・ OAの手段
- ・ 機関リポジトリ（によるグリーンOA推進）の意義
- ・ 国内外のOA方針策定状況

付録3. オープンアクセスとは

オープンアクセス (OA) とは

1. OAの定義

学術情報（学術雑誌論文、会議発表論文、図書等）がOAであるとは、当該情報がインターネット上で公開され、無料で閲覧（フリーアクセス）を含めた自由な利用が可能になっている状態を指す。

2. OAの背景

元々OA運動は、20世紀後半からの学術雑誌価格高騰問題を背景に、商業出版社への対抗を目的として始まった。世界中の大学等は機関リポジトリを設置してグリーンOA（後述）を推進してきたが、研究者の作業負担を必要とするセルフアーカイブは十分には進んでいないと言える。一方、2000年代中盤以降は商業出版社もArticle Processing Charge（APC）支払い型のビジネスモデルを確立させ、ゴールドOA（後述）に対して積極的な姿勢を見せている。近年は、公的資金によって得られた研究成果に対して納税者や産業界が容易にアクセスできるようにすること等を目的として、世界中の研究機関・政府機関・研究機関でOAポリシーの策定が行われている。

3. OAの手段

OAを実現するための手段には以下の2種類がある。

	①グリーンOA	②ゴールドOA
手段	著者自身が、機関リポジトリやサブジェクトリポジトリ等のOAリポジトリに登録する（セルフアーカイブ）。	出版社が、OAジャーナル等を出版する。
メリット	著者の費用負担がない。	出版後即座にオープンアクセスになる。
デメリット	出版社の著作権ポリシーによっては以下の制約がある。 ・登録が禁止されている ・登録できる版が指定されている（著者最終稿等） ・一定期間（エンバゴ期間）を経過しないと登録できない	著者がArticle Processing Charge（APC）を支払う必要がある（場合がある）。
備考		ハイブリッドオープンアクセス（購読ジャーナルの一部の論文のみを対象とする）、ディレイドOA（出版後一定期間経過した号はオープンアクセスになる）等のモデルもある。

4. 機関リポジトリ（によるグリーンOA推進）の意義

学術雑誌論文等の研究成果をOAにすることによって、世界中の誰もが無料で閲覧できるようになるため、研究成果の可視性が高まり、被引用回数等のインパクトの増加につながる。大学等の研

付録 4

ROARMAPの登録手順

- ROARMAP

<http://roarmap.eprints.org/>

付録 4. ROARMAP の登録手順

1. ROARMAP アカウント作成手順

世界中の機関リポジトリ登録方針を収集しているサイト「ROARMAP (ロアマップ: Registry of open access repository mandates and policies)」に情報を登録するためのアカウントを作成する手順です。

1. ROARMAP ホームページ (<http://roarmap.eprints.org/>) 画面左上の【Create Account】をクリック



2. 【Create Account】画面で必要事項を入力し、【Register】ボタンを押下

Create Account

In order to access some areas of the repository, you'll need a user registration. No charge is made for registering with us or using any of our services.

This page lets you register with ROARMAP. This will allow you to save searches, receive alerts and deposit items. Your new password will need to confirm your email address by using a code which will be mailed to you.

If you have already registered but have forgotten your username or password, [click here](#) to get a new password.

Name:	Title:	Given Name / Initial:	Family Name:
		職名	名前 苗字
Email address:	メールアドレス		
Username:	ユーザーネーム		
Password:	パスワード		

★ は必須項目
職名の記入例 Librarian

Register

3. ROARMAP からの【Registration】メールを受信し、1週間以内にアクティベート用 URL をクリック。アカウント作成終了。



②オープンアクセス方針リンク集

J P C O A R オープンアクセスリポジトリ推進協会	概要 About	組織 Organization	参加機関 Members	参加申込 Join us
JAIRO Cloud とは？ What is "JAIRO Cloud" ?	規程類 Rules	会議資料 Minutes	事業計画 事業報告 Project	各種資料 Publication

オープンアクセス方針・実施要領 リンク集

オープンアクセス方針・実施要領 リンク集 (2017.4.5.現在 15件 / 50音順)

- ・大阪府立大学: [公立大学法人大阪府立大学オープンアクセス方針 英語版](#) / [実施要領](#)
- ・岡山大学: [岡山大学学術成果リポジトリ登録要項](#)
- ・京都大学: [京都大学オープンアクセス方針 英語版](#) / [実施要領](#) / [ROARMAP](#)
- ・九州大学: [九州大学オープンアクセス方針 英語版](#) / [実施要領](#) / [ROARMAP](#)
- ・神戸大学: [神戸大学オープンアクセス方針](#)
- ・国際日本文化研究センター: [国際日本文化研究センターオープンアクセス方針](#)
- ・千葉大学: [千葉大学オープンアクセス方針](#)
- ・筑波大学: [筑波大学オープンアクセス方針 英語版](#)
- ・東京外国語大学: [オープンアクセス宣言・オープンアクセス方針](#)
- ・東京歯科大学: [東京歯科大学オープンアクセス方針](#)
- ・徳島大学: [徳島大学におけるオープンアクセスに関する方針](#) / [ガイドライン \(実施要領\)](#)
- ・名古屋工業大学: [名古屋工業大学学術機関リポジトリ運用指針](#) / [ROARMAP](#)
- ・名古屋大学: [名古屋大学オープンアクセスポリシー 英語版](#)
- ・北海道大学: [北海道大学学術成果コレクション運営方針 英語版](#) / [ROARMAP](#)
- ・北陸先端科学技術大学院大学: [JAIST学術研究成果リポジトリ運用指針 英語版](#)

リポジトリ運営担当者の皆様へ：
オープンアクセス方針を策定されましたら、「機関名（日・英）」「OA方針名（日・英）」「公開先URL（OA方針、実施要領、ROARMAP）」を、
オープンアクセスリポジトリ推進協会・論文OAタスクフォース (irtf_oa@nii.ac.jp) までご連絡ください。

URL : https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/?page_id=53